

# 自然の家だより

令和 3年  
5月20日

岐阜市少年自然の家（公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団） 岐阜市山県北野2081番地

Tel 058-229-2888 Fax 058-229-2933 E-mail gishizen@he.mirai.ne.jp URL https://gikyobun.or.jp/gishizen/

気温がだんだんと上がってきて、川にすむ生き物の活動も活発になってきました。そこで今回は、自然の家周辺の川にすむ生き物調査を行いました。今回の調査で見つけた5種類の生き物を紹介します。

- ①すんでいる場所 ②大きさ ③特徴

## ナマズ



- ①流れがゆるやかな砂泥底
- ②25cm ~ 60cm
- ③2対のひげがあり、からだは粘液でおおわれています

## ドンコ



- ①上流から中流の流れがゆるやかな場所
- ②~ 25cm
- ③産卵期のオスは「ゲーゲー」と音を出してメスを誘います

川下にタモを置いて、タモに追い込むように足でガサガサしてみよう！



川上

川下

## ヤリタナゴ



- ①中流や下流、用水路、水がきれいな湖や沼などの砂底
- ②~ 12cm
- ③ドブガイやマツカサガイなどの二枚貝の中に卵を産みつけます

## アブラボテ



- ①わき水があり、水草が生える小川や用水路
- ②~ 10cm
- ③タガイやインガイなどの二枚貝の中に卵を産みつけます

## カワヨシノボリ



- ①上流から中流の、流れがゆるやかな場所
- ②~ 6cm
- ③腹びれが吸盤状になっていて、岩などに張り付くことができます



腹びれ

アブラボテやヤリタナゴなどのタナゴの仲間、淡水にすむ二枚貝の中に卵を産みつける珍しい魚です。その理由は、貝の中に卵を隠すことで、他の生き物に食べられないようにするためです。



ドブガイ

みなさんの周りの水辺には、どんな生き物がすんでいるのでしょうか。そして、その生き物がどんな暮らしをしているのか調べてみると面白いですよ。

